



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★音楽之友社

●ミドルエイジの今からピアニスト 北村智恵著 本体1400円+税 2月下旬発売予定
これからピアノを始めるミドルエイジへ贈る大人のためのピアノメソッド。40代～50代へのアンケートで人気の曲をメソッド化。

●おとなのための楽しいピアノスタディ1 ブラインドタッチで弾ける

角聖子著 本体1000円+税 2月下旬発売予定

自分の音楽を見つける事が楽しいから上達したい気持ちをレスナーが発見してあげる、耳から入り弾きたいと思った曲を収録の曲集とCDも用意しました。

●ショパンのピアノイズム その演奏美学をさぐる【書籍】

加藤一郎著 3200円+税 2月上旬発売予定

ショパン自身の書き込み等の新資料を基にショパンの演奏論を新視点から提起した。ショパンの音楽の本質に肉迫する。

●ピアノ教師バッハ 教育目的からみたインヴェンションとシンフォニアの演奏法【書籍】

村上 隆著 本体1800円+税 2月下旬発売予定

この曲は元々長男フリーデマンのために作曲した教則用の曲集です。バッハ自身がどう教えたかを究明して行きます。

●新編 音楽小辞典 新書版・化粧箱入り 本体2286円+税 2月上旬発売予定

携帯に便利な新書版、音楽に関する全分野をカバーした、新編集の音楽辞典。

●音楽の仕事がしたい2005 オントモムック

音楽之友社編 本体1500円+税 2月25日発売予定

音楽業界の今がわかる最新ムーブメントを生み出す現場を徹底取材。掲載401社。毎年出版の就職・職業支援マガジン。

●音のつみきドリル・シリーズ全3巻

植田恵理子著 3歳～6歳児用 全3巻 2月下旬発売予定

1. らくがきピアノ [本体1200円+税] はじめてピアノにふれるこどもに
2. けんばんであそぼう [本体1000円+税] ドレミの場所を教えるときに
3. せんかんであそぼう [本体1000円+税] 楽譜の読み書きを教える前にあそびがいっぱい！ユニークで使い易いシリーズの登場です。

★KMP

●ピアノ・ナビゲーター 福西百代編著 本体1500円+税 2月中旬発売予定
音符の代わりに絵記号やイラストを使ってピアノのおけいこを楽に始められる指導書です。

★ドレミ楽譜出版社

●明解 実用楽典 澤野立次郎著 本体1500円+税 2月上旬発売予定
全編の内容は中学生から高校2年生程度で、楽典の基礎からわかりやすく学べます。

★ヤマハミュージックメディア

●音楽知育ブック くまのプーさんおんがくくいず①②③ (幼児用) 入門向き
2月下旬発売予定
本体価格各900円+税
大人にも子供にも大人気！くまのプーさんと一緒に楽器の名前や音楽記号が楽しく学べる音楽知育ブックの登場です。かわいいシール付き



音楽の仕事がしたい
2005



らくがきピアノ



けんばんであそぼう



せんかんであそぼう



明解 実用楽典



くまのプーさん
おんがくくいず

第38号
(2004年2月)

NEWS 88

「ハノン・ピアノ・レッスン」 — 毎日のテクニック・トレーニング —

ないとうまさこ
内藤 雅子



“楽しく、楽にピアノを弾きたい”とは、誰もが思っていることでしょう。近ごろでは、型にはまった従来の教則本にとらわれず、様々なジャンルの曲がレッスンに取り入れられ、教材としても使われるようになりました。けれども、自分が弾きたいと思って練習を始めた曲でも、思うように弾けなければピアノを弾く楽しさは半減してしまいます。いろいろな曲にチャレンジし、レパートリーを増やしていく上でも、それぞれのレベルに合ったテクニックの練習は、どうしても欠かせないものです。

本書「ハノン・ピアノ・レッスン」は、「全訳ハノン・ピアノ教本」の中から、ピアノを弾く上で特に必要と思われる課題を取り出し、初心者が無理なくテクニックの基礎を学べるようにまとめた教本です。原書の課題や意図を損なわないようにしながら、曲の長さ・音域・音符（拍子、リズム、等）の処理に工夫を加えたほか、各課題の意図が明確になるように、練習曲毎に見出しを付けて使いやすかたにしました。内容は、テクニックの基本といえるスケールとアルペジオに至るまでの、5つのステップに分かれています。

ステップ1 5指のための基本練習(原書NO.1～20)
ステップ2 テクニックのレベル・アップ(原書NO.21～31)
ステップ3 スケール・アルペジオのための指の廻転(原書NO.32～38)
ステップ4 長調のスケールとアルペジオ(原書NO.39,41)
ステップ5 短調のスケールとアルペジオ(原書NO.39,41)
毎日少しの時間をテクニックの練習に割き、それを継続していくことで、トレーニングの効果は確実に出てくる筈です。この本によって、ピアノを弾く楽しさを広げ、さらに次のステップへ進むお手伝いができることを願っています。

著者プロフィール

内藤 雅子

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。音楽教室を主宰するかたわら、ピアノ、ソルフェージュ教本、および音楽紀行文の連載等、執筆活動を行っている。主な著書に「バイエルdeひける子供のピアノ小曲集1,2巻」、「バイエルで使う5線ノート かきかたホームワーク1,2巻」、「ビギナーのためのハノン」、「おとなのリラックス・ピアノ・タイム」、「コードからはいるピアノレッスン1～3巻」、「コードを覚えてピアノを弾こう1～3巻」(以上、ドレミ楽譜出版社)、「こどものバイエルにあわせたピアノ曲集1～4巻」、「3人で弾くピアノ曲集」、「音感ソルフェージュ1,2巻」、「5線パターン集」(以上、デプロ社)、「コードがわかるピアノ講座」(レッスンの友社)他多数。



「ハノン・ピアノ・レッスン」
本体1000円+税 ドレミ楽譜出版社

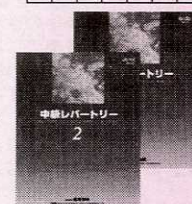


今月のNEWSな楽譜&グッズ

★(株)東音企画

●バスティン中級レパートリー (日本語版) 1・2・3 2月上旬発売
本体価格 各1200円

バロック期、クラシック期、ロマン期、近・現代期の独奏曲が集めてあり、その作品が作られた背景を知る手がかりとして、建築物や美術作品の写真やその説明、作曲家、主な楽曲様式についての説明なども盛り込まれています。中級への第一歩として、お使い頂けます。他のメソッドからでも移行可能です。各地にて効果的指導法講座を開催中。



ピアノ指導の 現場から

第6回 “ソルフエージュ・グループレッソンのすすめ”

佐々木邦雄



みなさん、こんにちは。年が明けて早くも一ヶ月が過ぎました。この連載も6回目となります。今回からまた新たに「ソルフエージュ能力」の柱の一つである＜歌のテキスト＞を素材とし、その活用を通して新たな分野に焦点をあて、さらに違う観点で話を進めたいと思います。従ってこの連載の第2回目でオリジナルの「新曲視唱（ピアノ伴奏付き）」を取り上げましたが、今回はその時とは視点と内容が違っています。また素材には既成の＜コンコーネ50番&25番＞を選びました。そしてこの教材で出来る様々な音楽の基礎トレーニングの内、まず第一に取り上げる内容として、グループレッソンならではの＜指揮者のトレーニング＞を選んでみました。ではさっそくスタートしましょう。

まずグループレッソン（6～8人）で「コンコーネ50番&25番」を歌う場合、私の教室では全員の中から「指揮者」と「ピアノ伴奏者」を一人ずつ選びます（トランプでジョーカーを取った2人）。そして「指揮者」になった人には、「自分の指揮」を通して「全員の演奏を一つにまとめる」と「自分なりに曲全体を仕上げる」訓練をしてもらいます。なお「ピアノ伴奏」と「歌そのもの」に関しては次号以降で述べさせていただきます。では「指揮者」について具体的な内容に進みましょう。

初めて指揮をする大半の生徒にとって、人の前に立つと言うことは相当なプレッシャーのようです。まともに複数の相手の顔（目）が見えず、たいてい下を向いてしまいます。次に演奏開始の合図がなかなか上手に出ません。さらに指揮そのものも曖昧で、歌やピアノに合わせてただ腕や手を動かしているように見えます。また強拍や弱拍がしっかりと振り分け出来ません。そして一通り演奏が終わっても、その後の音楽的指示が出せず、ただ黙って立っているだけの無意味な時間が流れてゆきます。これが現実です。このように指揮をするということは、見た目よりはるかに難しいことなのです。

それでも指揮をすることで本人の為になることがあります。それが「何事も経験がものを言う」ということです。「百聞は一見にしかず」は有名な言葉ですが、「百見は一行にしかず」もあると思います。今まで基本的に全て受け身の生活中心だった生徒にとって、逆の立場に立つことがいかに大変か、しかもこれは音楽の世界に限らず全ての分野に共通しています。音楽の世界に携わる者にとって、この「指揮が出来る」能力は、貴重な財産となります。そうであるなら、まずは「指揮を経験してみる」のが得策です。その際、普通私たちは指揮者が「指揮をする姿」を見るのは、本番の時が一番多いことです。本番での指揮者はほぼ無言で指揮棒を振り、後

は「身振り」と「手振り」と「顔の表情」で楽団員に練習時と同様の意図を乗せて伝えていきます。でもリハーサルまでは、絶えず各演奏者に対する実際の「語りかけ」や「歌いかけ」をしています。その際「歌う」と「訴える」は同義語に近く、指揮者は自分の持つ「音楽感性」や「音楽能力」を駆使して各演奏者に訴えて、曲全体の演奏を自分なりにまとめてゆきます。この時の「指揮者」と「指導者」もまた同義語に近いと言えるでしょう。将来「演奏家」になるにしても「指導者」になるにしても、やはり「指揮」は避けては通れない分野の一つとして考えて、ソルフエージュ能力育成のカリキュラムの一つとして組み入れておきたい内容ではないでしょうか。前置きが長く、また屈託っぽくなってしまいましたが、とても重要なことですのでご理解下さい。

今回はあと一言だけ付け加えておき、指揮の具体例は次号で述べさせていただきます。その一言とは「指揮者は曲のアナリーゼ（楽曲分析）をしっかり行い、自分なりの音楽表現と完成した曲の姿を描いていること」です。これが「自分で考え」「自分で行動する」習慣をつける原点になります。続きは次号で・・・では。ホームページ<<http://www7.plala.or.jp/ksmusic/>>でもレッスン内容を解説中ですので、どうぞご覧下さい。

プロフィール

東京都出身、東京芸術大学作曲科卒。これまで劇団「薔薇座」・「尚美学園」・「(財)ヤマハ音楽振興会本部」「ヤマハPEN本部スタッフ」の順で、演奏・作編曲・指導・出版・講座等を展開。自宅では「ケー・エス・ミュージック」を主宰し、後進の育成に力を注ぐ。ビティナ正会員、2003年より聖徳大学講師。

☆佐々木邦雄先生のソルフエージュ教室☆ 入校生募集中！（見学可）

【日時】2004年 2月21日（土）14:00～17:00

2004年 3月27日（土）14:00～17:00

【内容】ソルフエージュを中心に、聴音・楽典・伴奏法・アンサンブル等

【お問い合わせ先】（株）東音企画 電話：03-3944-1581

～連載～ ピアノレッスンの今後

♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

進級をひかえたこの3学期、私たちピアノ教師には気になる生徒ができています。特に、小学6年生。そして受験生。実はミュージックキーにも何人かそんな気になる生徒がいます。いつもコツコツ、小さいころから安定したレッスンをしてきたMちゃん。教師の予定どおりレッスンをさせてくれ、ピアノの腕も順調な伸び、つまり教師を困らせないタイプの生徒です。ところがそのMちゃんがこの3学期に入ってから浮かぬ顔。いつも元気にハキハキものを言うMちゃんが、こちらの質問にも下を向き「う～ん・・・わかんない。」など、想像もしない受け答えにこちらは「ど～したの？何かあったの？心配ごと～？」するとボソボソと話しだしました。「4月から中学だし～、ピアノ辞めようか、ど～しようか・・・と。」「・・・。」ガ～ん、えっ？・・・ショック！こちらの気持ちがおさまったところで、話を聞いてみると、2月から2つの塾へ行くこと。中学に入ったら、厳しいと言われていたソフト部に入りたこと。テストが大変になると回りの人が言っているけれど、できれば自分は頑張って良い成績をとりたいこと。などなど、まじめで頑張りやのMちゃんは、全てをパノフレクトにこなそうと思っているのです。でも不安が一杯。そんな中、ピアノを続けていくことは無理ではないか・・・と悩んでいるのです。今までピアノのレッスンを前向きにやっていたMちゃんは、生徒の鏡・・・つまり、「レッスンを受けるには毎日の練習は当然」と考え、それを実行してきたMちゃんにとって、忙しくなる中学生活の中、ピアノのレッスンを続けていくのはとても無理とあきらめかけていたのです。そうだったのか・・・。Mちゃんの真面目さ、真剣な気持ちが逆に彼女を苦しめていたのです。そこで、「毎日練習する」ということの大切さと、それを実行してきたことを十分ほめながら、もう少し長いスタンスでピアノを続けていくための色々な方法があることを話しました。それとピアノのレッスンのMちゃん的生活や人間形成にどう係わり、役立っているのか・・・分かりやすい言葉で伝えました。じ～っと聞いていたMちゃんの顔がほんの少しだけ明るくなったよ～ん・・・でもまだどうなるか分かりません。Mちゃんがこれからも元気にミュージックキーに通ってくれることを心から願っています。私たちはこんな時、ピアノの大切さ、忙しい中学生だからこそ続けてほしいという教師の願い、思いを伝えていかなければ・・・と強く思うのです。詳しいことは、<http://sound.jp/musickey/>へ。ムジカノーヴァ「ちょっと聞いてよ！」のコーナーに田村智子先生執筆連載中。

★講座のご案内★

●魅力的なピアノ教室実現のための
「導入指導マスター講座」 講師：岩瀬洋子
今「ピアノのおけいこ」のあり方（練習しない／親子で根気がないなど）に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師（指導）、教室作り」が真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】第6期【日時】2/6、3/5、4/9
（全て金曜日）10：00～12：00
【会場】東京芸術劇場第5会議室
（池袋駅西口徒歩3分）

【福岡】【日時】2/19、3/11
（全て木曜日）10：00～12：00
【会場】ヤマハピアノサロン博多

【名古屋】4/14、5/19、6/16、7/14、9/15、10/13、11/17
【新潟】4/22、5/13、6/10、7/8、9/9、10/14、11/11（同じ講師による単発講座が3/2に同会場にて開催されます）

【東京】第7期6/3からスタート！すでに申し込み開始！

●魅力的なピアノ教室実現のための
「ディプロマコース」 講師：岩瀬洋子
これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【東京】第4期【日時】3/4、4/8
第5期【日時】6/4からスタート！
【会場】東京芸術劇場第5会議室
（池袋駅西口徒歩3分）

【静岡】2/10、3/9、4/13、5/11、6/8、7/6
「ミュージックキー認定試験」、岩瀬洋子先生、田村智子先生の講座についてのお問合せはミュージックキーまでご連絡ください。

（ミュージックキー055-989-3900担当：植松）

▼「ページペラペラ、くらべてクラクラ、
どうするメソッド」 講師：田村智子

①メソッドはなぜ必要なのでしょう。②メソッドの見分ける方法は。③今の生徒にあったメソッドとはどんなものなのでしょう。

【熊谷】2/20(金)10：00～12：00タニタ楽器
（問合せ：0485-21-5721 担当：岩崎）

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221（業務部） TEL 03-3866-2224（営業部）

FAX 03-3866-2222 <http://www.prima-gakki.co.jp/>

札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所
〒453-0016 愛知県名古屋市中村区竹橋町33-20
TEL 052-453-7211 FAX 052-453-7217